



2024年4月24日

各位

会社名 日本高純度化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 小島 智敬
(コード番号4973 東証プライム)
問合せ先 取締役経営企画部長 渡邊 基
兼財務経理部長
(TEL. 03-3550-1048)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2022年7月28日に公表しました中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の最終年度の計画値を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせします。なお、この修正後の数字は、本日発表の決算短信における2025年3月期の業績予想と一致しております。

記

1. 修正の内容

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期	
			2022年7月公表	今回修正
売上高	16,254	11,419	22,000	13,000
営業利益	567	354	1,500	500

2. 修正の理由

中期経営計画（フェーズ1：2022～2024年度）の数値目標については、折り返し点にあたる2023年度についても、2022年度と同様に減収・営業減益となりました。

これは市況の回復遅れ、具体的には当社顧客の先の最終製品（パソコンやスマートフォン等）の需要が想定ほど伸びず在庫調整が長期化していることによるもので、顧客によってもバラツキがある状況です。

2024年度においても、AI向けの好調継続やWindows10のサポート終了にともなうパソコン更新需要が期待できるものの、スマートフォン向けの需要回復は力強さに欠けると思われ、コネクタ向けの回復は下期以降と見込まれます。

加えて、貴金属、特にパラジウム価格の大幅下落により、貴金属込みの取引（売上高）へのインパクトも大きくなっています。

(参考情報) 2022年3月パラジウム価格：10,000円/g前後 → 2024年3月：5,000円/g前後

以上を踏まえて、2022年7月に公表した2024年度の売上高・営業利益目標を大幅に引き下げることにいたしました。

中長期の見通し（中期経営計画フェーズ2～3）につきましては、上記の状況を踏まえて今後見直してまいります。早期に成長軌道への回帰を果たし、ROE 目標 10%の達成を目指します。東京証券取引所が掲げている「資本コストや株価を意識した経営の実現」を意識しながら、財務方針にもとづく適切な資金配分（キャッシュアロケーション）や資本の最適化を推進・加速していくほか、企業価値・顧客価値創造、企業理念にもとづく行動やガバナンスの変革を継続的に検討する場として 2023 年度にスタートした経営層と専門家による「CX 向上会議」を軸に、市場・ステークホルダーの皆様の期待に応えてまいります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上